

平成 30 年度第 1 回学校運営協議会 議事録

日時 平成 30 年 6 月 13 日 (水) 15:30~17:00

場所 校長室

1. 開会

2. 校長挨拶

3. 紹介 学校運営協議委員の紹介及び会長・副会長の選出と承認  
事務局の紹介

4. 事務局報告

①校長より「平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価」について

②各分掌、科と系より 目標設定提示 (別紙) ⇒ポイントの説明を要請される

教務部・生活指導部・進路指導部・総務部・普通科・産業創造系・機械系・電気系が要旨を説明

5. 全体協議

○入試倍率 1.06 倍は実際のところ、何人定員を上回ったのか。

Ans. 280 名募集のところ 299 名受検したので 19 名です。

○広報活動の中で新入生に対してはアンケートを行ったか。

Ans. 総務部より「入学までの通塾調査」「HP 活性化にあたっての顔出し可否」を問うアンケートは実施しているが、入学してからのアンケートとしてはまだ行っていない。

○HP のアクセス数は把握しているか。

Ans. カウンターをつけるなど方法はあるが、信憑性の点で実施していないので把握できていない。

○校内でのアンケートを行って目標達成度ををはかるのは良いが、他校との比較はどのようになっているのか。

Ans. 校長会で遅刻数の経年変化を比較することはあったが、学校として行ったことはない。

○工科高校の中での比較は必要なのか。

Ans. 今後検討します。

○学校教育自己診断はいつ行われたか。

Ans. 今年の 1 月 2 月に生徒・保護者・教員に向けてそれぞれ行った。結果のデータを数値目標に落とし込んで順調にクリアしている。産業創造系はコンテスト応募件数を上げるように目標を立てている。全体的な分析結果について生徒は右肩上がり、保護者は横ばい、教員のばらつきがある点は考え方の相違によると見ている。

○定員割れを防ぐことは大事なこと。普通科の習熟度別の授業編成についてどのような状況か。

Ans. 英語科を例に回答。昨年度より行っている基礎と標準の 2 クラスに分けて 5 月から 9 月まで行い、その後再編成を行っていく予定。

○それについての評価はどのようになっているか。

Ans. アンケートをとり、実施されて良かったという声をもとに今年も行っている。

○教員の人数配置の問題もあり、2 班編成であることも理解できる。

○ドローンを使用したプロモーションビデオは府民に「見える化」ができるのですばらしい。情報やものづくりの付加価値について技術を高校で学び、人材不足の中、若者が即戦力になっていけるのは貴重なこと。

○ドローンは誰が担当しているのか。

Ans. 卒業生と彼が所属している企業にも協力いただいた。今年度、授業でもドローンの研究を行い、小学校出前授業なども企画している。

○地域と連携した広報活動の中に会議時間の短縮が計画されているが、どのような関わりがあるのか。

Ans. 働き方改革の視点から、業務に ICT を活用し、事務的な連絡はメールで行い、会議の場では資料も必要最小限にして時間を短縮し、生徒にかかわる時間を確保するというねらいがある。

○非常に良いことなのでがんばってください。

6. まとめ

○このドローンを使った PR をもっと中学生やその保護者にいかに伝えるかが大切。

HP にもリンクできるし、広報イベントのときなどにもタブレットで流すことも可能です。今後行っていく予定です。

7. 佐野工科地域コンソーシアムについて (別紙) 教頭

ほぼ新しい取組みとしては機械系の企業連携によるもの。

今後も学校 PR として案内や依頼のあったところには積極的に取組む予定である。昨年実績のあった創造部や生徒会など今年度も学校としてサポートして活躍を期待したい。

8. 校長挨拶

9. 閉会

・その他、連絡事項 次回 9月に日程案内をして10月頃の予定で調整する。